

本を選ぶ

高校図書館版

NO.30 2000年(平成12年)11月10日

●発行／ライブラリー・アド・サービス
本社 〒162-0822 東京都新宿区下宮北町2-28-517 TEL=03-3235-6168

ぶつく・えんど

図書館と古本屋の「イモ掘り」

何か分からない疑問にぶつかったとき、どうすればよいか。①自分で考える、②知っている人に聞く、③本で調べる、④電子情報を探索する、⑤観察・実験をする、⑥それらを組み合わせる、など疑問の内容に応じていろいろな方法がある。

私は偶然のきっかけから「牧野植物図鑑の謎」に深入りしたが、それを解くには、ほとんど③の本で調べる方法に頼った。といっても私の疑問にズバリ答えてくれた本には、とうとう最後まで出会わなかった。いまにして思うと、ズバリの答えがなかったからこそ、疑問の迷路にふみこみ、パズルを解く楽しさがあったのだと思う。

牧野富太郎『牧野新日本植物図鑑』は、恐らくどこの高校図書館にも備えられている有名な植物図鑑である。その元になったのが『牧野日本植物図鑑』（1940）という名著だ。

あるとき古本屋で牧野富太郎『日本植物図鑑』（1925）という古ぼけた植物図鑑をみつけた。これが、あの有名な『牧野日本植物図鑑』の母体だったのか、という思いで物好きに買ってみた。それからしばらく後、今度は村越三千男『大植物図鑑』（1925）という背皮のすりきれた植物図鑑をみつけ、これも興味本位に買ってみた。

ところが家へ帰って両者の奥付を見くらべて驚いた。発行日が1日しか違わないのである。大正時代に分厚い植物図鑑が1日違いで発行されたと

いうのは、ただごとではない。出版競争を思わせる。いったい両者の間には何があったのだろう、と私の野次馬的好奇心が大きくふくらんだ。

さっそく図書館へ行き、牧野富太郎の伝記や自叙伝をつぎつぎに読んでみた。ところが不思議なことに『日本植物図鑑』は出てこない。どうやら『日本植物図鑑』は表に出したくない事情があって、伝記作家が「伏せた」予感がある。一方の村越三千男は伝記もない無名の存在である。

それ以来、あちこちの図書館や古本屋をわたり歩き、牧野や村越の関連資料を探した。それはイモ掘り作業に似ていた。大きなイモがあるとねらって掘っても、さっぱり収穫がなかったり、思いがけないところからイモづる式に新事実がみつかったりする。また関心のないときは見えなかったものが、急によく見えるようになったり、謎が謎を呼ぶ展開になったりもした。イモ掘りは、まことに楽しい作業である。

やがて霧の晴れ間から向こうの景色が浮かんでくるように、牧野と村越の間の知られざる人間関係や、植物図鑑の意外な歴史が分かってきた。

私はそれを『牧野植物図鑑の謎』（平凡社新書1999）にまとめることができた。幸いにも多くの新聞や雑誌で「推理小説のように面白い」「テレビドラマができる内容」「無名者の墓に菊の花が供えられた」などと好意的な書評をいただいた。また多数の読者から手紙をいただき、中には新しいイモの存在を教えてくださる方もいた。

身にあまる光栄であるが、これも、ひとつには図書館を利用したお陰だと感謝している。これからも新しいイモ掘りにチャレンジしてみたい。

（俵 浩三：専修大学北海道短期大学教授）

関西学院高等部の図書館を訪ねて

関西学院高等部の図書館について語るとき、はずせないことが二つあります。それは教職員のチームワークの良さと読書科という特設教科があることでしょう。

関西学院は、中学部、高等部、大学からなっている、今年建学111年目にあたる老舗の学院です。高等部は、生徒数900名の男子校です。

図書館は校舎の地下に位置し、中庭を囲んだ矩形のスペースです。この校舎は100周年の記念事業のひとつとして11年前に現在の位置に建てかえられたものです。100周年を期に蔵書の点検やコンピュータ化もすすみ、図書館にとっても大きな飛躍につながる出発の年になりました。

■ およそ5万点の資料を所蔵しています。図書館の中には教室が一つ設けられていて、そこで読書科の授業がおこなわれます。そのほか中庭を挟んで数か所で授業ができるようなしつらえになっています。

読書科とは

読書科は、文部省の規制で設置されているのではなく、関西学院独自の教科です。中高各学年に一時間ずつ設けられています。読書科があることを前提にして、図書館の建物が造られています。

○ 図書館の宅間紘一先生は読書科の専任教師です。この科が設けられたときから担当しておいで宅間先生がごく簡単にまとめてくださったところによると、

「一説明しにくいところなんですけど、読書科は広い意味での読書教育です。図書館を舞台にしますので、図書館教育でもあります。子どもたちの読書生活を育てることを目標にしています。他の教科の学力については、入学試験である程度粒をそろえています。読書力とか読書体験ということになると、テストの対象ではないので、個人差があります。そういう子どもたちに、個性の違い、読書体験の違いを前提にして、読書生活をその子なりに定着させようということです。と言っても、一つの教科の中だけで、その子なりの読書生活が育つはずはありません。そういう意味では全学的な取り組みが必要なんですけど、教科があることによって、そこを軸に発展できるというこ

とです。ここの生徒は受験勉強からは解放されているので、その子なりの読書生活が育てられるということになっています。

狭い意味では、読書指導と同義ですが、読書そのものが目的ではなく、本、言い換えますと資料、今はメディアというのですが、これをうまく使って自分のテーマを発見させる、その技術を確立させるということです。主体的な知的生活の技術を身につけさせる。関西学院の読書科は、図書館なしには自主的な自立的な学習ないし技術の習得はありえないという考え方に立っています。講義的な授業はほとんどなく、演習的な、調べて自分で書いて発表していく授業です。読むことそれ自体で心を耕す読書とともに、何か問題を解決するために、図書館をどう使ってどう資料をまとめて、どう発表していくのかを習得していく教科です。高等部では教科の集大成として、論文をまとめます。—

読書科が設けられたのは、20年以上前でした。それが、たまたま教科の枠を越えたものであり、知識詰め込み方ではなくて、考える力とか問題設定能力を育てる時間であったということで、文部省の総合的な学習が狙っていることとかなり重なるということで、昨今見学者が多かったり、発表を依頼されたり、取材を受けたりしているそうです。

司書の仕事

○ 関西学院高等部では、図書館スタッフが4人います。専任の崎田利江さんに司書の立場からのお話を伺いました。

—司書の仕事をしていますが、司書という職制がないので、一般職員で雇用されています。学内40以上の部署があり、人事異動で、どこに行くかわかりません。

私は、大学図書館へ異動したとき、司書の資格をとりました。その後別の部署をいくつかまわりまして、高等部の図書館が新しく建て替わったあとにここへきました。たまたまここに10年います。最近「ああ10年が一区切りだなあ」と思っています。仕事は、宅間先生と一緒に図書館を改善したり、いろんな改革をしたりしています。



スタッフのみなさん

私のほかに、嘱託職員が一人とアルバイト職員が二人いまして、常時4名が職員として働いています。

予算が600万円、ほかに200万円弱の消耗書籍代がありますので、まあまあ潤沢な方だと思っています。

選書は、宅間教諭と私がやっています。日常的には私がいろんな状況を見ながら選んでいます。教科の先生方からの希望で購入するものもありますし、生徒からのリクエストは多いです。生徒の希望は100%近く受け入れています。と言っても暴力的な表現が多いものや、ゴーストライターが書いたと思われるタレント本については入れていません。でも生徒が希望してきたとき、こちらが一方向的にだめとは言いません。どうやらねと返して希望者と一対一で話しあっています。君が読みたくてもみんなはどうやらね、或いはみんなが読みたくてもうちの学校としてはどうやらねと本人に判断してもらうように、納得いくようにつとめています。

読書科の資料は、テーマが多岐にわたっていますので、ものによっては、かなり深いところまで集めています。選択教科も以前はたくさんありましたので、多岐にわたって集めてあります。蔵書のバランスのことが気になりますが、なんとなく、うまいぐあいにバランスがとれています。

宅間先生の机は図書館にもあります。図書館に入れた本全てに件名をつけるのは宅間先生の仕事ですが、司書教諭として発令されているわけではありませんので、図書館の仕事だけをするわけにはいきません。クラス担任も、クラブの顧問も持っています。校務分掌もいくつか持っています。

先生が今、一番優先するのは何かは日常の話し合いでわかりますので、図書館の仕事をどこに入

れてもらうか間合いをはかっています。忙しくても一番でしてくださいということもありますし。宅間先生に用事のある生徒もきますし、問い合わせもありますので、そんなとき先生どこやらねでは済まないで、先生の予定も把握して、答えられるようにしています。

車の両輪

図書館運営の管理面については、こちらが責任を持ち、先生は教育的側面から責任を持っています。なんでも必ず話し合います。生徒に対して、先生も私も同じ方向を向いています。今のスタッフと先生とはチームワークがとれています。わざわざミーティングをするわけではないのですが、みんなに仕事の状況をよく説明して、みんなが同じレベルで仕事の状況を知ってるようにしています。チームワークがとれると一つの仕事も速いですよね。先生と司書は車の両輪ですよ。

読書科の授業の状況も知らせてもらいます。生徒がちがう方向に進んでると、ちょっと手伝おうかと声をかけたりしています。やらないといけなとか、これはできないからやらないとか、杓子定規には考えていません。あつと気が付いたらやれてたという形になっておりまして、ひよつとしたら教育職の中に踏み込んでいることもあるかもしれませんね。まあお互いの信頼関係だと思えます。今のところはスムーズに流れていると図書館の中では思っています。

選択授業とか、自習とか、一度に図書館を使えるのは、三つくらいでしょうか。利用は多いです。最初からそうだったわけではなく、こういう調べ方できますよ。こういう資料が入りましたと知ってもらう努力を続けてきました。

2003年の4月には関西学院高等部でも司書教諭が発令されることが決まっています。新しい仕組みになっても、生徒がよりよく利用でき、一人でも多くの生徒を一冊でも多くの本に出会わせたいという宅間先生と崎田さんの想いは新たな改革と改善をめざして燃え続けるように思えました。人と資料と施設、どれをとっても、うらやましいと感じる方が多いことでしょう。

(2000.10.17 於関西学院高等部図書館)

代替の方のために引継書を作る

—安心して産休に入るために—

実は9月から二度目の産休に入っています。産休に入ってから、大きなお腹を抱えて保育のブックトークをさせていただきました。今度は私の出産も間近ということで、出産を予定している助産院と一人目を出産した大きい病院の違い。週に1回通い始めたマタニティ・ヨガの体験など、私のマタニティライフの話を交えて、2時間続きの家庭科の授業をまるまる使わせてもらったのブックトークでした。休み時間にはいつもならふざけている男の子もお腹を触わりに来たりして、「赤ちゃんって暖かい」「お腹って意外と堅いんだね」と、和気あいあい。幼児虐待関連の本も織り交ぜて読んだのですが、なごやかな中にも親になるのって大変だなと感じてくれたようです。私自身も生徒に話をするうちに自分を見つめることができた貴重な体験でした。

さて、今回は産休に入るにあたって私の代替に来てくださる方に引継書を作ったので、その内容をご紹介しますと思います。

本誌25号に掲載されている「スタッフマニュアルをつくらう」の連載第一回では、パソコンのマニュアルを作ることで手一杯。落ち着いて図書館業務を文章化することはできませんでした。今回は、市販ソフトを使っているお陰でパソコンに関してはマニュアルがあるので、それ以外にこれだけはお願いたいと思う業務をマニュアル化してみようと思ったのです。

まず優先してほしい仕事内容を箇条書きにしました。

仕事の優先順位について

①学校図書館も図書館であり、カウンターが基本です。カウンター業務を大切に、最優先してください。

②本の受入はリクエスト本の処理を最優先に。

・リザーブ(取り置き)の本はリクエストを受け

木下 通子

た時点で、パソコンで登録

・リクエスト(購入希望)の本は、まずパソコンで検索し、本校になければ購入して下さい。発注は冊数が少なくても細かく行ってください。

(リクエストの分はできれば毎日)

もし、本校に所蔵している本で紛失や現物がみあたらない場合は、他の図書館に求本するなど、予算と照らし合わせて処理して下さい。

・リクエストの本が入って来たら、大至急登録して利用者に連絡してください。

・コミックのリクエストは、年度末にお金(コピー代・及び図書委員会文化祭古本市の売上げ)があったら購入するという事で生徒に回答して下さい。

③本の督促について

・先生の督促(借りているかどうかの確認)は、学期末に1回しか行っていません。先生に貸出中の本にリクエストが入って、それが貸出期限が過ぎている場合は、至急返却してくれるよう連絡してください。

・生徒の督促は週1回をめやすに行ってください。督促状をすることで本の回転が早くなります。督促三回目くらいまでは予約用紙と同じ本の督促状を使って、1か月とか2か月の長期延滞者には、長期延滞者用と書いてある用紙を使っています。予約用紙と同じ本の督促状を使うのは、担任に督促だか予約だかわからないようにするためです。

④できれば、「いんふおめーしょん」を定期的に発行してください。

・図書館で受け入れた本をすべて掲載するようにしてください。

・月初めに貸し出し統計を入れてください。

・雑誌の付録プレゼントを月1回行ってください。

・その他、図書委員会関連の行事の連絡を載せてください。

・本の紹介を書けたら書いてください。

代替の方への引継書 その一

代替の方への引継書 その六

本に関する質問や要望（生徒から）でよくある型とその対応

- ①新しい雑誌を入れて
- ②雑誌のバックナンバーがほしい
- ③コミックのリクエスト
- ④卒業アルバム・卒業文集の閲覧
- ⑤生徒会誌の閲覧

次に書いたのが会計処理についてです。これは学校の内部事情によっても変わってくると思うので細かく記載できませんが、どんな予算立てをして、今、いくら予算が残っているか、選書の裁量権はどうなっているのか、授業での複本購入にどう対処してほしいか、決算報告の出し方についてなど、箇条書きにしました。

三番目に書いたのが「授業利用について」。私が産休に入るために二・三学期の授業予約が一学期から入っていました。気の早い先生だと来年の1月から入る調べ学習の予約などもしてくれていたもので、どの先生がいつからどんな授業をするのかという一覧を作りました。交代早々の9月当初から社会と商業の二つの調べ学習が入っていたのですが、その他に飛び込みで地理の調べ学習が入ったり、新しい司書さんは授業利用への対応にかなりとまどったようです。

図書委員会の活動については、きっと手が回らないだろうと思い、担当の先生や生徒から聞いてほしいということでもどめました。その他、生徒からの個人的な要望にどう対処していたか、よく聞かれる生徒からの本に関する質問の一覧などを次のように書きました。

個人的な要望について

- ①コピーしたいんだけどお金を忘れたので貸してください。 → 断っています。
- ②筆記用具を貸してほしい → 断っています。
- ③教科書を忘れたので、図書館にある教科書を貸してほしい。 → 断っています。

代替の方への引継書 その七

代替の方への引継書 その九

パソコンなどが不調な時や書店などの関連問い合わせ先一覧。
月ごとの学校行事の流れに対応した図書館の業務内容。

館内で使いたいということであれば、ボールペンなどは貸しています。

生徒からの本に関する質問や要望について

- ①新しい雑誌を入れてと言われたら…2月に購入希望調査をしているので、その時にリクエストをして下さい。
- ②雑誌のバックナンバーがほしい…1月にプレゼントをしています。市立図書館では、毎月雑誌のリサイクルをしています。
- ③コミックのリクエスト…お金の都合で常時受け付けていません。図書委員会の文化祭・古本市の売上げと、年度末のお金の残りで調整して買える分は買います。
- ④卒業アルバムの閲覧…カウンターの後ろにある分のみ。貸出しはしません。
- ⑤卒業文集の閲覧…昨年度は発行しませんでした。過去の方はカウンターにあります。
- ⑥生徒会誌の閲覧…カウンター後ろの棚にあります。

その他、図書部会の運営や部会での司書の役割、司書不在時の対応なども書きました。代替の方の要望で書いてみたのが、一日の仕事の流れです。

一日の仕事の流れ

- 1 朝
 - ①朝会が終わったら、事務室から新聞と郵便物を取って図書館へ
 - ②司書室のパソコンを立ち上げて、昨日のバックアップを取る
 - ③閲覧室のカギをあける
 - ④カウンターのパソコンと検索用のパソコンを立ち上げる

- ⑤カーテンをあける
- ⑥コピーの電源を入れる
- ⑦新聞を綴じる
- ⑧ポットのお湯を沸かす
- ⑨植木に水をあげる

2 授業中

- ①生徒から資料についての質問を受けることも多いので、授業が入った場合はカウンターに出て、できる作業をしてください。
- ②レファンレスがあったらその処理を優先してください
- ③リクエスト本の受入を優先してください
- ④授業中に先生が来館した場合は、できるだけカウンターへ出てください。

3 休み時間

- ①昼休みと放課後は図書委員のカウンター当番が来ますが、司書も必ずカウンターに出るようにしてください。(昼休みは必ず、放課後も4:00くらいまでは司書室で作業せずにカウンターへ)

4 閉館時

- ①閲覧室のコピーの電源を落とす
- ②カーテンをしめる
- ③貸出と検索用のパソコンの電源を落とす
- ④閲覧室のカギをしめる
- ⑤司書室のパソコンの電源を落とす

⑥ポットの電源などの確認

自分にとっては何気なくやっている作業なのですが、こうやって箇条書きにしてみると一連の流れの動作になっているのだと感じました。

最後につけたのがパソコンなどが不調な時や書店などの関連問い合わせ先一覧です。そして月ごとの学校行事の流れに対応した図書館の業務内容を書いて(たとえば年末に読書アンケートをとるとか、1月に雑誌のバックナンバープレゼントを行うなど)私が復帰する予定の来夏までのできごとカレンダーをつけました。

例年行っている読書アンケートや雑誌の購入希望アンケートの用紙を付けてマニュアル完成。きっと細かい部分ではわからないこともでてくるのですが、一応、何がどこにあるという引継の他にこのマニュアルがあれば、一通りの流れがわかります。と言ってもらうことができました。

私ごとですが、この原稿を書いている今日から出産予定日まであと2週間ほど。今度は3歳になった娘の立ち会いで助産院での出産を予定しています。上の子の時は家族の立ち会いも無い、病院にお任せの出産だったので、今度の出産は私らしいお産ができるよう、頑張りたいと思います。

(きのした みちこ:埼玉県立岩槻商業高校司書)

伝承や古典文学に現れた妖怪の正体を、
絵画や年中行事・芸能・郷土玩具の写真など
豊富な図版とともに探る。

日本の妖怪百科

絵と写真で もののけの世界をさぐる

[監修] 岩井宏實 [全5巻]

構成 ①山の妖怪 ②水の妖怪 ③里の妖怪
④屋敷の妖怪 ⑤妖怪を調べる手引き・索引

◎体裁◎
A4変型判(280×210ミリ) / 上製本(図書館用堅牢造本)、
縦組、18綴 / 各巻平均56頁(各巻4色カラー16頁)、総ルビ

揃本体 15,000円(税別) ※セット販売のみ
■小学校中学年〜 ■NDC388(民俗)

河出書房新社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-32-2
☎03-3404-1201

—中学生からの全方位独学法—

虚数の情緒

日刊工業新聞第16回「技術・科学図書文化賞」受賞

吉田 武(よしだ・たけし) 著
工学博士(数理工学専攻)

この本は人類文化の全体的把握を目指した科目分類に拘らない「独習書」である。歴史、文化、科学など多くの分野が、虚数を軸に悠然たる筆致で書かれている。また人生の「参考書」ともなるよう、様々な分野の天才達を縦横に配した。漢字、電卓の積極活用なども他に例の無い独特のものである。

A5判・上製本・1032頁 / 定価(本体4300円十税)
ISBN 4-486-01485-5 C3041 分野 / 自然科学(数学)

東海大学出版会
〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4
TEL:03-5478-0891 FAX:03-5478-0870
URL <http://www.press.tokai.ac.jp/> E-mail: webmaster@press.tokai.ac.jp

加藤周一対話集

全4巻別巻1 刊行開始 四六判・2800円

第3巻〈国民的記憶を問う〉



戦後史 国民的記憶を問う
 梅棹忠夫 堀田善衛
 西嶋定生 菅野昭正
 大岡昇平 久野 収
 古在由重 秦 正流
 只ノ本 大江健三郎
 宮本顕治 藤山愛一郎

戦後史を検証する

- ① 〈日本的〉ということ (既刊)
 - ② 現代はどういう時代か (既刊)
 - ③ 丸山眞男、サルトルとの対話を中心に
 - ④ ことばと芸術 (11月刊)
- 「別巻」加藤周一が語る〈戦後世界と日本〉
 知的で刺激的な48人との対話を集大成!

かもがわ出版 〒602-8119 京都市上京区堀田通出水西入
 TEL 075 (432) 2868 FAX 075 (432) 2869

武部敏夫・中村一紀編

A4判/一三〇〇〇円

明治の日本

―宮内庁書陵部所蔵写真― 「内容見本」送呈

宮内庁書陵部には、明治天皇のお手許に上げられた二千枚にもぼる古写真が伝えられる。新時代建設の多様な姿を、明治という、時とともに写し撮っている貴重な写真集である。

人物叢書 / 最新刊

通巻226

田口卯吉

田口 親著
 四六判/二〇〇〇円

明治時代のエコノミスト・政治家・起業家・歴史家。維新後、新しい学問と出会い、近代日本建設のため自由貿易主義を掲げ、新史論を展開する。前人未到の足跡を残した快男児五十年の生涯。

価格 東京都文京区本郷七丁目二一八 吉川弘文館
 電話〇三三三八一三一九一五

■本年11月下旬刊行 日本野鳥590

一人の写真家が撮影した前人未到の写真図鑑
 写真=真木広造 解説=大西敏一
 ●A5変型判 640頁 本体3,500円

■2001年3月刊行予定 日本野生植物 [コケ]

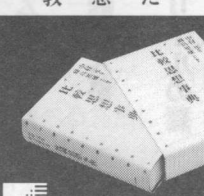
編=岩月善之助
 日本の蘚苔類約1,800種を収録する待望の図鑑
 ●四六倍判 550頁・写真1,162点
 刊行記念特別定価18,000円(本体)

平凡社 〒152-8601 東京都目黒区碑文谷5-16-19
 TEL.03-5721-1234 http://www.heibonsha.co.jp

比較思想事典

21世紀、新たな〈学〉の創造へ!

好評発売中! 国内初刊
 東西の思想を比較した初の本格的な事典! 日本における比較思想の到達点を示す。思想、哲学、倫理、宗教に関心を持つ人々、待望の書。



監修 中村元
 責任編集 峰島旭雄
 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1
 TEL.03-5390-7531 FAX.03-5390-7538
 東京書籍 ホームページをご利用ください。http://www.tokyo-shoseki.co.jp

恒常性かく乱物質汚染

最新刊●藤原邦達
 人工化学物質の乱用によって危機に瀕した人類の未来。カネミ油症から、環境ホルモンまでその問題点と解決策を提言する。 3200円

恐るべき「輸入米」戦略

最新刊●河相一成(東北大学名誉教授)
 「米」があふない。農業の生殺与奪の権を握る「WTO協定」を検討し、危機的状況の改善のための改正試案を提言。 1400円

しのびよる化学物質汚染

●安原昭夫(国立環境研究所総合研究官)
 化学物質汚染の蔓延する今、どのようにしたら持続可能な社会が作られるか。科学的データをもとに、その未来像を提言する。 1800円

遺伝子組み換え作物と環境への危機

●ジェーン・リスラー マーガレット・メロン(米・憂慮する科学者同盟)
 商業化ペースで、遺伝子組み換え作物が大量生産されようとしている今、環境(生態系)へのリスクを根本から検証する。 2000円

合同出版 東京都千代田区神田神保町1-52
 ☎03(3294)3506・fax03(3294)3509 税抜

『刀水』No.2

■対談■
 大濱徹也―樺山紘一―
 「現代を生きる歴史学」



『刀水』第2号が出来ました。おかげさまで、増刷した創刊号は大好評で、残りわずかとなりました。第2号の対談は33頁。後半に「刀水書房出版図書目録」が付きます。書店または直接刀水書房にお申し込み下さい(無料)

発売中 好評
戦争と人間の歴史
 一人間はなぜ戦争をするのか―
 J.キーガン著 四六上製・190頁・本体2000円

東京都千代田区西神田2-4-1 刀水書房
 TEL03-3261-6190 Fax3261-2234

歴史博万華鏡
B4判 2112頁 本体28500円(税別)
■国立歴史民俗博物館II監修
■オールカラー版 10月下旬刊行予定

地震防災の事典
岡田恒男・土岐憲三編 本体24000円(税別)

冷凍食品の事典
(財)日本冷凍食品協会監修 本体20000円(税別)

グラフィカル数学ハンドI
小林道正著 本体20000円(税別)

総合図書目録'00秋版あります。ご請求下さい。

朝倉書店 東京都新宿区新小川町6-29
TEL 162-8707 FAX 03-3260-7631

普及版
数の悪魔
算数・数学が楽しくなる12夜



エンツェンスベルガー ベル
ナー絵 丘沢静也訳 数学ぎ
らい治します! 数に秘めら
れた驚くべき魅力をあかすオ
ールカラーの愉快な入門書。
待望のペーパーバック版、つ
いに登場! 1680円(税込)

晶文社 東京都千代田区外神田2-1-12
電話03(3255)4501
http://www.shobunsha.co.jp/

限りなく広がる知識の世界 辞典600点突破/
消えた市町村名辞典
地名情報資料室編 本体5800円

数学パズル事典
上野富美夫編 本体2200円

俳句実作辞典
倉橋羊村著 本体2000円

水木しげるの**続世界妖怪事典**
水木しげる著 本体2500円

民家・町並み探訪事典
吉田桂二著 本体2900円

東京堂出版 東京都千代田区神田錦町3-7
TEL 101-0054 FAX 03(3233)3741

野坂昭如コレクション

四六変型・上製函入
平均600頁
定価 3000+税円
第1巻好評発売中!!

野坂昭如 (のさかあきゆき)
1930年生まれ。
敗戦後TV・CM業界に入り、63年
には「おもちゃのチャチャチャ」
でレコード大賞作詞賞を受賞。
67年「火垂るの墓」で第58回直
木賞を受賞。
以後、小説・エッセイから社会・
政治活動まで幅広く活躍する。

- 第一巻 ベトナム姐ちゃん
- 第二巻 骨我身時死人葛
- 第三巻 エストリールの夏

国書刊行会 〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15
TEL 03(5970)7421 FAX 03(5970)7427
http://www.kokusho.co.jp

化学 物質の世界を正しく理解するために
重松栄一著/安部明廣監修
化学教育を根本からとらえ、高校の化学実験のすべ
てを収録! 化学教育者の座右の書。
【推薦します】
左巻健男(東大教育学部附属高校)片江安巳(化学教育研究会事務局)
B5判 536ページ 本体7500円

一揆を学ぶ類書なき大著!
図説 日本の百姓一揆
歴史教育者協議会編/斎藤純監修
※教科書に掲載の一揆はすべて収録。
※各県1件以上の一揆を学べる。
※百姓一揆の各種形態がわかる。
※ロマン溢れる現地マップ付き。
B5判 380ページ 本体7800円

民衆社 東京都文京区本郷4-5-9-901
TEL03-3815-8141

夢子が | 21世紀の福祉をになう君たちへ
おばあちゃんになるとき
平野隆彰著 これからの福祉について主人
公と一緒に考える福祉物語。 一八〇〇円

●資格のとり方・しとのすべて 各一五〇〇円

理学療法士まるごとガイド
日本理学療法士協会監修
リハビリの専門家として、様々な現場で活
躍する理学療法士のすべてを紹介する。

作業療法士まるごとガイド
日本作業療法士協会監修
食事などの日常の作業活動を支援する作業
療法士のすべてをわかりやすく紹介する。

ミネルヴァ書房 京都市山科区日ノ岡堤谷町1
TEL075-581-0296 ※価格は税別